（様式－1）

災　害　速　報

関西支部

発生日時	令和　7 年7月３１日（水曜日）９ 時２０分							天候	晴れ	
災害の程度	死亡　－　名		負傷　１名		伐採工		年令２３才		経験年数　３年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失（調査中）	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

伐採作業中における挫創災害

【発生状況】

根切伐採作業中、支線用チルホール設置後にチェーンソーで受け口・追い口を入れるも、かかり木状態でとまったため、さらに追い口を入れたところ、対象木が捻じれながら倒木し、その結果、伐倒木の根元とチェーンソーが左足首に乗り、伐倒木の重みで左足首を挫創した。

（チェーンソーは捻じれた対象木に噛みエンジン停止状態だった）

【工事内容】

保安伐採　根切り伐採作業

【施工体制】

元請：Ａ社　　下請：Ｂ社　　二次下請：Ｃ社

（構成）作業員４名

・安全衛生作業責任　下請Ｂ社　１名

・作業責任者　男　23歳　（被災者）経験年数３年

・作業員Ａ　男　22歳

・作業員Ｂ　男　48歳

【発生経緯】

6:00 登山口に到着しTBM-KYを実施。

6:20 作業場所到着。現地でミーティングを実施し作業着手。

8:45 ２回の休憩を挟み、３回目の作業再開

偏心木３本目伐採のための打合せを実施（工法変更について元請に報告なし）

チルホールを配置後、チェーンソーにより受け口、追い口の順で伐採を実施。

偏心木が谷側に傾きかかり木状態となったため、かかり木状態を回避すべく

チルホールを取り込んだが解消できなかったため、さらに追い口から伐採。

隣接木に接触しながらワイヤー（支線）を支点として回転し、倒れた伐採木が剪断し、被災者方向に跳ね上がった。

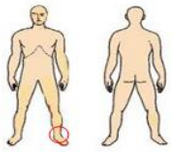
9:20 被災者はチェーンソーを持ったまま退避したが間に合わずチェーンソーと伐倒木が左足首に乗り伐倒木の重みで左足首を挫創した。

9:30 被災者の応急救護の実施

10:00 救急が作業場所へ到着

11:06 救急車へ搬送し、病院に向け出発

11:20 病院へ到着し処置



左足（首）挫創

【被災状況】

左足挫創（２週間程度入院）骨に異常なし

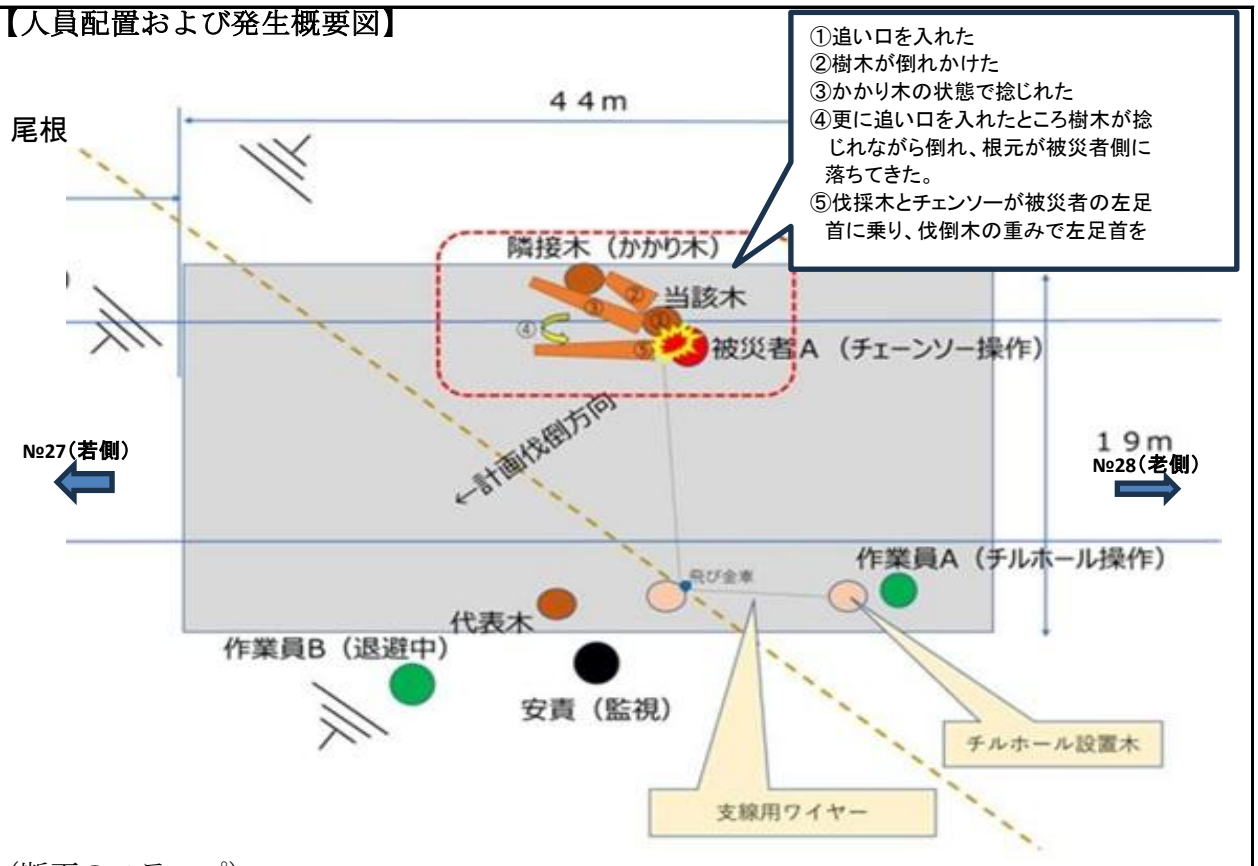
【安全装備】

ヘルメット、フェイスガード、地下足袋（甲ガード）、防振手袋、切創防止ズボン

（様式－2）

災　害　概　要　図

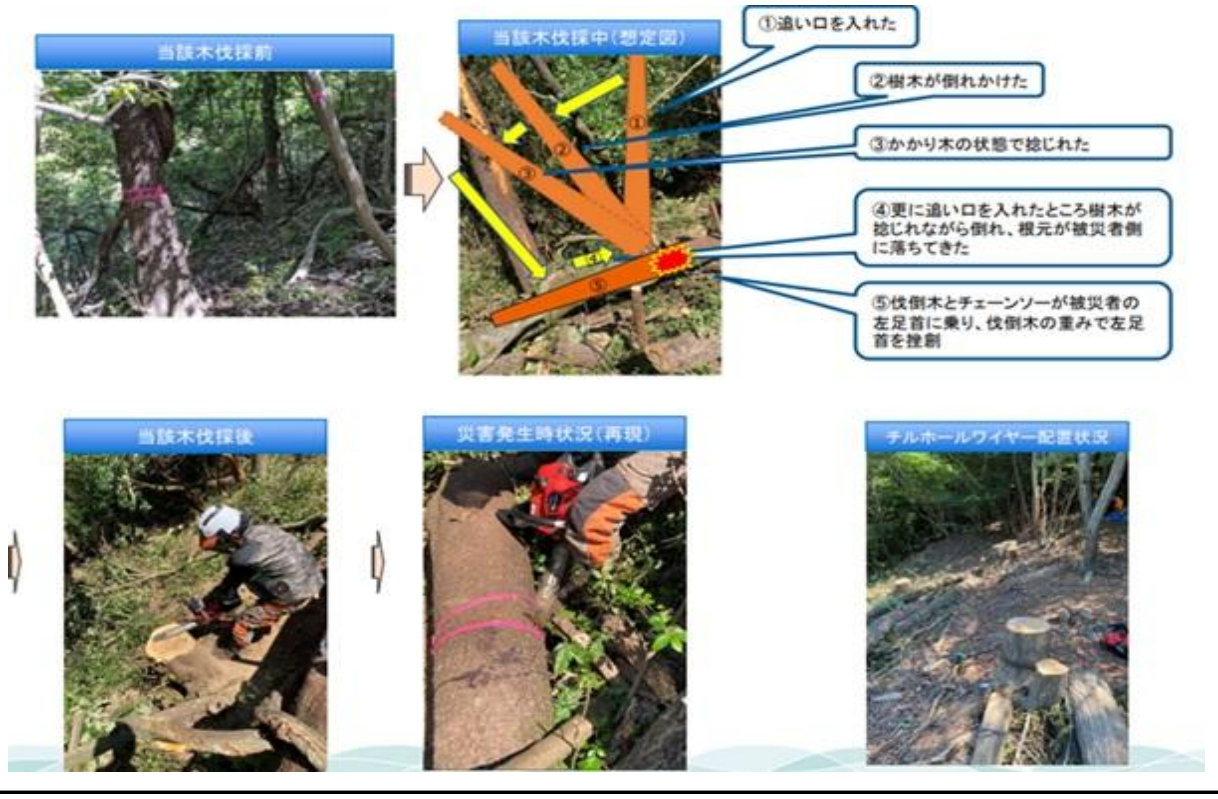
【人員配置および発生概要図】



（断面のステップ）

1. 伐採前　　2. 受け口　　3. 追い口　　4. 再追い口　　5. 倒木

※入れ過ぎた

左側にねじれ倒木

【発生概要図】